

令和7年度学校関係者評価報告書

学校法人国際総合学園
上越公務員・情報ビジネス専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人国際総合学園 上越公務員・情報ビジネス専門学校 自己点検・評価委員会「学校関係者評価」専門部会委員会は、令和7年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施いたしました。以下のとおり、報告致します。

1. 「学校関係者評価」専門部会委員

・本校専門分野における業界関係者

上越市本町四丁目商店街振興組合 副理事長 熊田 僚己氏

社会福祉法人 上越あたご福祉会 理事長 草間 裕一郎氏

上越 5e 協議会 事務局長 半田 和之氏

クラスメソッド株式会社 最高情報責任者 植木 和樹氏

ミカタ税理士法人 上田支店 支店長 税理士 野口 英理氏

社会福祉法人 上越あたご福祉会 さんわ保育園 園長 小島 幸哉氏

株式会社メディカル&ケア 部長 宮下 祐子氏

株式会社 実務教育出版 教育教材事業本部 取締役 三浦 俊哉氏

・本校卒業生

堀川 柊斗

・本校学校長

学校法人国際総合学園 上越公務員・情報ビジネス専門学校 木村 栄一

・本校学校長の指名する者

学校法人国際総合学園 上越公務員・情報ビジネス専門学校 副校長 松屋 ゆかり

2.基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価
基準 1 建学の精神・教育理念・教育目標	・アクティブ・ラーニングやプロジェクト型学習を導入することで、学生が実際の問題に取り組みながら学べる環境を提供する基盤づくりが重要である。
基準 2 教育の内容	・「変化に対応する力」を育成するため、クリティカルシンキングや問題解決力を養う授業やワークショップを取り入れることを提案。次年度カリキュラムに導入を検討する。
基準 3 教育の実施体制	・専門的な知識と技術の指導者が不足している。上越市、企業団体などと連携して人材育成を強化。卒業後の就職に向けたアドバイスやサポート力を高く評価する。
基準 4 教育目標の達成と教育効果	・高い就職実績を誇り、地域企業へ貢献している点において評価する。企業からの指定校求人、業界と連携した就職ガイダンスに参加協力の依頼を受ける。
基準 5 学生支援	・NSG 奨学金支援に加え、学校独自の学費減免制度等金銭面においての支援が充実している点は高く評価する。
基準 6 社会的活動	・地域、保育園、施設のイベントに積極的に参加することで学校と地域社会の結びつきを更に強化していく。
基準 7 管理運営	・事務局職員と教務職員の連携・役割を更に徹底し、学校運営やコミュニケーションの充実を求める。
基準 8 財務	・NSG グループの専門学校の一員であり、財務に関しても本部経理部が一元管理している。
基準 9 改革・改善	・産学連携の深化、個別対応の強化、ハイブリッド教育など教育方法の改革が必要である。学生支援や学びの環境設備面も検討が必要。

3.学校関係者評価 全体的な総括

項目	評価
自己点検・自己評価報告書を見ての全体的な意見	・地域に密着した学校として、常に現場のニーズに対応できる人材を輩出し続けることを期待。また、地元企業との共同研究やプロジェクトを通じて、業界の最新課題に取り組みスペシャリストの育成、人格者の輩出を期待。